

令和4年度 岩谷堂高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

岩谷堂高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

- ・ 午後6時以降も勤務している教職員が全体の約半数に及ぶ。
- ・ 主任の教職員など、一部職員に業務が集中している。
- ・ 時間外在校等時間が年間360時間(週休日等の部活動指導を除く)超の教職員の割合が27.1%である。
- ・ 年間の年次休暇取得日数が5日以上 of 教職員の割合が93.2%である。
- ・ 夏季休暇を完全取得した教職員の割合が68.2%である。

2 目指す姿

- ・ 教職員一人一人が、ワークライフバランスを保ちながら業務に取り組んでいる。
- ・ 管理職が日頃から、教職員に対し働き方のアドバイスをを行っている。
- ・ 教職員が計画的に年次休暇等を取得し、十分な休養が確保できている。
- ・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、生徒達に向き合うことができている。

3 取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プランに掲げる週1回以上の定時退庁の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・ 管理職が、休暇取得について積極的に声掛けをします。
- ・ 月の半ばで月の時間外在校等時間が45時間を超えそうな教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から面談を実施します。
- ・ 管理職が健康診断の結果を把握し、受診を要する教職員に対して積極的に声掛けをします。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 管理職が、校務分掌事務等の助言、支援を積極的に行い、教職員をバックアップするとともに、業務改善についても積極的に提案します。
- ・ 会議の簡素化や各校務分掌内の業務の見直しに取り組みます。
- ・ ICT機器を積極的に活用し、業務の効率化を推進します。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 地域と一体となって地域活動の在り方について検討します。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう取り組みを紹介をします。
- ・ 部活動の対応の在り方について検討・改善します。

4 目 標

- ・ 月100時間以上の時間外在校等時間の勤務を行う教職員 → 0人
- ・ 月45時間超、年間360時間超の時間外在校等時間(週休日の部活動指導時間を除く)勤務する教職員の割合 → 令和3年度比で5割減
- ・ 年間5日以上 of 年次休暇取得及び夏季休暇を完全取得する教職員の割合 → 100%
- ・ 健康診断結果において有所見者である教職員の受診率 → 100%

令和4年5月31日 岩谷堂高等学校長 軍司 悟

(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度

【プランの目標】

目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。

- (2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。

時間外 在校等時間	取組期間	
	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
月45時間超	令和2年度実績の 8割減	ゼロ
年360時間超		

目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。